

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

# 離れていても、会議はできます

～時短・生産性を向上させる工夫～

①

残業を減らすために何か良い方法はないものか。社内で会議をいくらやってもいい案がでない。

お困りのようですね。会議はどのようなものを開いているのですか。

本社のまわしも大変

②

月に1回、各支店担当者を本社に集めて開催してるんだけど、それぞれの業務や移動距離の関係で、いつも午後で開催しているんだ。終業後に会議を開催することもあるかな。

③

会議自体が残業原因になっていますね。会議効率化の工夫として、**テレビ会議システムを導入すれば**、支店から本社への移動時間が省略できますよ。併せて、資料作成の効率化も検討しましょう。

テレビ会議が活用されています

④

テレビ会議システムを導入したところ、支店から本社への移動時間が省略され、残業時間も減少しました。併せてテレワークも導入し、従業員のワーク・ライフ・バランスを進めています。

残業時間も減少し、人材確保につながった

## 取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：70名

会議のたびに各支店や工場から本社に従業員が集まる必要があり、また、本社で事前に会議資料を大量に印刷しなければならなかったことから、業務の効率化に取り組んだ。

### <テレビ会議システムの導入>

- 各支店の打ち合わせ室にWEB会議用のテレビ及びシステムを設置することで、担当者は本社に集まらずに、会議に参加することを可能とした。
- テレビ会議システムに併せてテレワークを導入した。

### <会議資料印刷の省略>

- 会議資料を事前にデータ配布し、会議に参加する際は、資料を印刷せずにモバイルPC等を持ち込ませるようにした。

【導入経費を助成！】

○人材確保等支援助成金

<テレワークコース>

新規にテレワーク導入に向けた取組を実施し、テレワーク実施実績等の基準を満たした場合、導入経費に対して助成します。

機器等導入助成率：30%

目標達成助成率：20%(生産性要件

を満たした場合35%)

上限額：100万円 又は 20万円

×対象労働者数のいずれか低い方

◆導入助成にも実績基準の達成状況等、一定の要件があります。



- ・以前は、支店から本社への移動時間の関係で午後からしか会議を開催できず、その結果として残業が発生することもあったが、移動時間が削減された。
- ・会議資料データを事前配布することにより、印刷に要する時間及びコストが減少した。

## 御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【令和3年度 厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市千種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階(タスクール内)

☎ 0120-006-802

※受付日時：月～金曜日(祝日等を除く) 午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com